

# 同盟世界週報

第廿六卷第一號 昭和十二年一月一日發行 (1292)

## 新年備大號

攻勢の終末點(時論).....長谷川如是閑

戰爭と國民的道義心.....小泉信三

アメリカ人と殘忍性.....下村海南

大東亞戰の根本理念.....古野伊之助

防空山岳都市の建設.....

## ★特輯★

### 世界の戦局・政局どう動く

◆總論.....

◆東亞戦局の動き.....

◆歐洲戦局とドイツの底力.....

◆英ソの角逐とフランスの立場.....

◆米國の動向と世界制覇政策.....

◆英國の危機.....

◆中立諸國の歸趨.....

## 解説と翻譯

第四年目への課題.....大屋久壽雄

決戦段階と敵米國の態勢.....寺西五郎

新版ふらんす物語.....井上勇

交戦列強航空機生産の趨勢(上).....

アメリカの戦争目的.....W・リツフマン

アメリカの戦争目的の批判.....安達鶴太郎

アメリカの將來.....G・ミュールダール

各國戰時財政の動向.....O・シュヴァルツ

スターリン會見記.....E・ジョンストン

海外事情(資料).....

同盟通信社發行 法人

# 世界週報同盟

第廿六卷 第二號 昭和十二年一月二十二日發行 (1293)

百姓の心 (時論) ..... 三

昭和二十年度一般會計本豫算の全貌 ..... 四

## ▲特輯▼

大東亞はかく戦ひかく建設する ..... 六

## ★ 内容 ★

總論・滿洲國・蒙疆  
華北・中南支  
フィリピン共和國  
ビルマ  
マライ・北ボルネオ  
ジャワ・スマトラ  
海軍々政地域

## 翻譯と解説

現代海戦の本質 ..... 山口昇 一五

交戦各國航空機生産の趨勢 (中) ..... 二七

世界戦争の地政學 (I) ..... スバイクマン 二〇

食糧新資源物語 (十四) ..... 二

海外事情 (資料) ..... 三

法團 同盟通信社 發行

大正九年十月九日第三種郵便物認可  
毎週一回 土曜日發行

# 同盟世界週報

(1294) 行發日七廿月一年十二和昭 號三第卷六廿第

米國の國內戰線 (時論) ..... 三  
 ◇戰時隨想◇ 戦ひゆく力 ..... 古野伊之助 四

★ 特 輯 ★

比島戰局を繞る諸問題 ..... 六

内 容

總 論  
 時局の様相  
 敵米英の態勢  
 我國の内態勢

解説と翻譯

ギリシヤの内亂とトルコの諸問題 ..... 三  
 重慶知識青年の動員 ..... 五  
 交戦列強の空機生産の趨勢 (下) ..... 六  
 米英軍の上陸用船舶及び舟艇 (上) ..... 九  
 世界戦争の地政學 [I] ..... スパイツマン 三  
 食糧新資源物語 [十五] ..... 一  
 海外事情 [資料] ..... 三

行發 社信通盟同 團社法

(共稅)錢二十三價賣發

# 同盟世界週報

(1295) 行發日三月二年十二和昭 號四第卷六廿第

號

令(時論)

航空戦力増強の基礎

富塚清四

特 輯

敵國アメリカの現勢

序 論

新年度豫算と戦費 八

生産力の現段階 〇

人的資源の再動員 三

國民生活の變貌 五

戦時機構の解剖 八

解説と翻譯

イギリス政府破算白書全文 二

「B29」のできるまで 五

米英軍の上陸用船舶及び舟艇(下) 六

世界戦争の地政學【Ⅱ】 N・Jスパイクマン六

口増産の話題 合 板 船 二

海外事情【資料】 三

行發社信通盟同 團社 人法

# 同盟世界週報

第廿六卷第五號 昭和十二年二月十日發行 (1296)

時務一家言 (時論) ..... 三  
日本の鐵鑛 ..... 渡邊萬次郎 四

## ◆特輯◆

### 米英の作戰陣營と作戰方式

戰局の様相と敵の戰略【總論】 ..... 六  
組織と首腦部の顔觸れ【作戰陣營】 ..... 八  
米英陸海空軍の性格【作戰方式】 ..... 一〇

### 解説と翻譯

大東亞戦争と滿洲國 ..... 大岩和嘉雄 三  
B29を截る (一) ..... 四  
アメリカ經濟の現在と將來 (上) ..... G・ミュールダール 一六  
米英の戰時生産と資本の集中 ..... E・ヴァルガ 一八  
世界戦争の地政學【III】 ..... N・Jスパイクマン 二二  
□増産の話題 □松根油 ..... 二三  
海外事情【資料】 ..... 二四

同盟通信社發行 法人

# 世界週報同盟

第廿六卷第六號 昭和十二年十二月十七日發行 (1297)

物 量 談 議 (時論).....三

重慶軍需産業とアメリカ.....飯 田 藤 次 四

★特 輯★

## 我決戰經濟態勢の展望

航空機増産に總力結集【軍需生産】.....六

本土自給態勢の強化【食糧増産】.....一〇

千億豫算とインフレ防止【金 融】.....二二

内 容

解説と翻譯

〓B29〓を 截 る(二).....四

アメリカ經濟の現在と將來(中).....G・ミュールダール.....五

世界戦争の地政學【V】.....N・J・スパイクマン.....八

イギリス政府破算白書追加【上】.....三〇

海 外 事 情 【資料】.....三三

法 人 同 盟 通 信 社 發 行

# 同盟世界週報

第廿六卷第七號 昭和十二年二月二十四日發行 (1298)

世の行く末(時論)……………三  
米英ソ三國會談の成果……………四

★特輯★

## 米英ソ三國關係の分析

軍事上の暗闘……………六  
歐洲『解放』の悲劇……………八  
戰後獨占の戦ひ……………二

解説と翻譯

口増産の話題 酒 石 酸……………三  
世界戦争の地政學【Ⅵ】……………N・J・スバイクマン……………四  
アメリカ經濟の現在と將來(下)……………G・ミュールダール……………六  
B 29 を 截 る(三)……………八  
イギリス政府破算白書追加(下)……………〇  
海外事情【資料】……………三

同盟通信社發行 法人

# 同盟世界週報

(1299) 行發日三月三年十二和昭 號八第卷六廿第

アリミヤ會談以後(時論)……………三  
 アメリカ政界最近の動き……………四

★特輯★

## 米英の歐洲侵攻地域經濟情勢

◇總論……………六

◇米英軍占領下の諸國の經濟不安……………六  
 ◇米英の對歐洲大陸通貨工作の現段階……………八

解説と翻譯

國家資金計畫の全貌……………二  
 最近の印度事情……………三  
 反樞軸勞働會議……………六  
 ◇B29を截る(四)……………八  
 最近のアメリカ機動部隊……………九  
 世界戰爭の地政學【Ⅶ】……………二〇  
 N・J・スパイクマン……………二〇  
 海外事情【資料】……………二四

行發社信通盟同 團社法



# 世界週報



(1300) 行發日二十月五年十二和昭 號九第卷六廿第

長期戰の史例と日本の長期戰法……………伊藤田禮三  
一個の處置(附論)……………三

★特輯★

戰時下米國の國家と資本

內 戰爭と利潤……………四  
生産擴充と獨占……………五  
國家と資本の諸問題……………七

解説と翻譯

アメリカ武器貸與制の諸問題……………九  
トルトマンの横顔……………(C. H. I.) 10  
世界戰爭の地政學……………(N. S. Байман) 10  
海外事情……………11

行發社信通盟同 團社法

大正九年十月九日第三號郵物認可  
毎週一回土曜日発行

# 世界同盟週報



第廿六卷 第十號 昭和五年十月十九日發行 (1301)

## 米英國際通貨案特輯號

◇ブレトン・ウツツ協定全文

第一部 聯合國國際通貨基金協定最終草案

第二部 復興開發銀行設立計畫最終草案

### 通貨案の解剖

米英國際通貨案を截る

國際通貨協定と米國の利益

國際通貨協定案の批判

三

三

三

二

五

八

同盟通信社發行 法人

（共） 錢二十三金價賣

大正九年十月九日第三種郵便物認可  
毎週一回土曜日発行

# 同盟世界週報



(1302) 行發日六十二月五年十和昭 號一十第 卷六廿第

歐洲の命運……………井上 勇 二  
物價の天玉 山(馬)…………… 三

★特 輯★

ドイツ降伏を繞る歐洲情勢

内	總統の陣歿と休戰交渉…………… 四
	デーニツ政權と全面降伏…………… 五
	降伏後のドイツ…………… 五
	米英ソの對獨政策…………… 六
	イタリヤとオーストリア…………… 七

解説と翻譯

ドイツはなぜ敗れたか…………… 八
最近の重慶事情…………… 九
アメリカの戦車(上)…………… 一〇
世界戦争の地政學(9)…………… N・J・スパイクマン…………… 一一
海外事情(資料)…………… 一二

行發 社信通盟同 團社 人法

大正九年十月九日第三種郵便物認可  
毎週一回土曜日発行

# 同盟世界週報



(1303) 行發日二月六年十二

號二十第 卷六廿第

物量戦力と企業家精神……………寺西五郎 二  
桑 港 會 談〔附〕……………三

## 特 輯

大陸經濟圏の新動向

内 序 論……………四

内容 大陸資源開發の現状……………四  
戰力化への隘路の克服……………六

## 解説と翻譯

最近のソ聯外交……………八

アメリカの戦車〔下〕……………九

世界戦争の地政學〔10〕……………ニ  
N.J.・スパイクマン……………三

海外事情〔附〕……………三

行發社信通盟同 團社 人法

(共税) 錢二十三金價賣

大正九年十月九日第三種郵便物認可  
毎週一回土曜日発行

# 同盟世界週報



(1304) 行發日九月六年十和昭

號三十第 卷六廿第

敵の意圖する日本抹殺案……………藤村豐千代 二  
戰場組 織(時論)……………三

### ★特輯★

歐洲戰終了後の世界經濟

序……………四  
歐洲の經濟再建……………五  
米英の再轉換と對日戰備……………五  
食糧問題の動向……………六

### 解説と翻譯

ソ聯と歐洲……………ロンドン・タイムズ報 八  
世界科學文化のぞ記「ベニシリンの巻」……………三  
世界戰爭の地政學「二」……………N・J・スパイクマン 一  
海外事情……………三

行發社信通盟同 團社人法

(共稅) 錢二十三金價賣

大正九年十月九日第三種郵便物認可  
 每週一回 土曜日発行

# 同盟世界週報

(1306)行發日三十廿月六年十二和昭

號五第十 卷六廿第

自由主義から社會主義へ……………長谷川才次	二
勝敗論 談(長谷川才次)	三
◆英國の總選舉まで……………	二
★特 輯★	
戦後ヨーロッパの金融情勢	
内 容	
米英の對歐進出……………	四
西南歐各國金融の現状……………	五
東中歐諸國の現状……………	六
解説と翻譯	
桑港會議と米英ソ關係……………	八
ドイツ處理案を繞る各國の動向……………	九
世界戦争の地政學(長谷川才次)	一〇
◆米國最近の社會問題新刊管見……………	七
海外軍事 情(長谷川才次)	三

行發社信通盟同 團社法

(英社) 錢二十三金價賣

大正九年十月九日 第三種郵便物認可  
毎週一回 土曜日 発行

# 世界同盟週報

昭和十二年六月三十日發行(1307)

第六十號 第六卷

大陸接岸作戰と抗戰支那の運命〔要〕……………二

★特輯★

本土決戰態勢の展開

緊急措置法の意義……………三

〔内〕 國民義勇隊の結成……………四

企業體制の刷新……………五

〔容〕 空襲下の金融問題……………六

食糧對策の確立……………八

解説と翻譯

ベタン裁判……………九

イギリス對印提案の狙ひ……………一〇

世界戦争の地政學〔下〕Non-Spaceman……………一一

海外事情……………一二

同人社發行 同盟通信社

（共） 錢二十三金價賣

大正九年十月九日第三種郵便物認可  
第一回土曜日発行

# 世界同盟週報

昭和十二年七月七日發行 (1308)

第六十卷 第七十號



必 勝 の 自 信 [譯語]..... 二

★ 特 輯 ★

延安政權と延安地區の現状

延安政權の支配圈..... 三

政 府 の 實 體..... 三

農 業 政 策 と 教 育 問 題..... 四

金 融 と 商 工 業 の 現 狀..... 四

對 ソ 聯 關 係..... 五

解 說 と 翻 譯

歐 洲 戰 終 了 後 の ソ 聯 國 民 生 活..... 六

聯 合 國 出 血 の 記 録..... 七

ソ 聯 外 交 政 策 の 根 柢 に 在 る も の..... 九

◇ 増 産 の 話 題 ◇ 鹽 (しほ)..... 一〇

世 界 戰 争 の 地 政 學 (E.N.J. スパイクマン)..... 一一

ア メ リ カ 最 近 の 支 那 觀..... 一五

海 外 事 情 (資料)..... 二二

同盟通信社發行 法人團體

(共稅) 錢二十三金價賣 (幣)



大正九年十月九日第三種郵便物認可  
毎週一回土曜日發行

# 世界同盟週報

昭和十二年七月十四日發行 (1309)

第六廿卷 第八十號

宣傳と錯覺 [原題]..... 三

## ★特輯★

世界經濟戰爭の新段階

序論..... 三

アメリカの攻勢..... 三

イギリスの苦惱..... 四

ソ聯勢力の發展..... 五

## 解説と翻譯

聯合國機構憲章全文..... 七

聯合國機構憲章解説..... 七

米英ノ消耗の記録..... 一四

世界戰爭の地政學 (16)..... N.J. スパイクマン..... 一六

法團 同盟通信社 發行

(共稅) 錢二十三金價賣 (卷)

四七

大正九年十月九日第三種郵便物認可  
每週一回土曜日發行

# 同盟世界週報

(1310) 行發日五十二月八年十二和昭

號九十第 卷六廿第



特  
輯

ポツダム會談と對日宣言

三國會談……………三

會談公報全文……………三

對日宣言……………二

對日宣言解說……………二

クレムリンを訪ふの記……………H・ジョンソン…一五



行發 社信通盟同 團社

(共稅) 錢十五金價賣(幣)

大正九年十月九日第三種郵便物認可  
毎週一回土曜日發行

# 同盟世界週報



(1311) 行發日一月九年十二和昭

號十二第 卷六廿第

☆特 輯☆

第二次世界大戰の終焉……………

樞軸の敗因  
敗戦の経緯  
世界政局の展望

時局突破の基盤……………新明正道 九

解説と翻譯

ソ聯の獨占領地における政黨……………二

世界戦争の地政學……………N.J.スバイクマン 四

——戦後の世界——

行發 社信通盟同 團社  
法入

(共稅) 錢十五金價賣

大正九年十月九日第三種郵便物認可  
毎週一回土曜日發行

# 世界同盟週報



(1312) 行發日八月九年十二和昭

號一廿第 卷六廿第

☆全誌特輯☆

## 日本は何故敗れたか

日本經濟社會への一反省……………二

計數に見る戦力低下の傾向(1)

は	し	が	き	……………	四
陸海軍の人的損害……………	……………	……………	……………	……………	四
勞務動員の推移……………	……………	……………	……………	……………	五
艦艇と航空機の損耗……………	……………	……………	……………	……………	六
船舶保有量の變遷……………	……………	……………	……………	……………	九
重要資源の生産……………	……………	……………	……………	……………	二
通信の混亂……………	……………	……………	……………	……………	一六

行發 社信通盟同 團社 法

(共稅) 錢十五金價賣

大正九年十月九日第三種郵便物認可  
毎週一回 土曜・日・發行

# 同 盟 報 週 界 世



(1313) 行發日五十月九年十二和昭

號二十第 卷六廿第

## 特 輯

轉換の岐路に立つアメリカ

トルーマン政治の性格……………二

復員と産業再轉換……………三

武器貸與制廢止の今後……………六

## 論 叢

戰爭終結と科學振興……………富塚 清…八

戰後における道義の問題……………高山岩 男…二

計數に見る戦力低下の傾向(2)……………一三

— 輸送困難の加重 —

行發 社信通盟同 團社法

(共稅) 錢十五金 價賣

大正九年十月九日第三種郵便物認可  
每週一回 土曜 日發行

# 同盟世界週報



(1314) 行發日二十月九年十二和昭

號三十第 卷六廿第

## 特輯

### 戰爭終結と中國の動向

日華關係の新局面……………二

國共問題の現狀……………三

對英米ノ關係の推移……………五

### 論叢

日本における民主主義……………黒田 覺・八

### 解説

聯合國の日本經濟處分論……………二

日本敗因の戰術的檢討……………三

——ポールドウインの所説を中心として——

行發 社信通盟同 團社法

(共稅) 錢十五金®價賣

大正九年十一月三日  
每週一回 土曜 日發行

# 同盟世界週報

(1315) 行發日九廿月九年十二和昭

號四廿第 卷六廿第

特 輯

## 民主主義の意味について

日本民主化の方向と任務……………二

米ソの民主主義……………五

解 說

聯合軍の日本占領方式……………七

日本海運の現状と將來……………一〇

計數に見るわが戦力低下の傾向③……………二

世界戦争の地政學 (18) N・J・スパイクマン……………二四

行發 社信通盟同 團社法

(共稅) 錢十五金 價賣

毎週一回土曜日發行

# 同盟世界週報



(1316) 行發日三十月十年十二和昭

號六・五廿第 卷六廿第

## 特輯

### 大戦終了後のヨーロッパ情勢

再建への前進……………二

復興を急ぐソ聯……………二

新しい英國の建設……………四

バルカン諸國の動靜……………五

動搖するスペイン……………六

その後のドイツ……………八

## 論叢

戦後インフレの諸問題……………木村禮八郎 九

歴史の日の記録——終戦前後の内幕……………一三

## 解説

わが纖維産業の回顧と展望……………一四

計數に見るわが戦力低下の傾向〔完〕……………一七

## 翻譯

戦時經濟における國家の役割……………E・ヴァアルガ 三

世界戦争の地政學〔完〕……………N・J・スバイクマン 元

世界平和の基礎條件〔I〕……………E・H・カー 三〇

行發社信通盟同 團社 人法

(共稅) 圓一價賣 じ號本 り限